



和歌山県報

発行 和歌山県
和歌山市小松原通一丁目1番地
毎週火、金曜日発行
定価 (送料共) 1か月2,200円

目次

○ 監査公表

監査公表第25号

監査公表

和歌山県監査公表第25号

地方自治法(昭和22年法律第67号)第199条第2項の規定により、県の刊行物について行政監査を実施したので、同条第9項の規定によりその結果を公表する。

平成17年4月19日

和歌山県監査委員 垣 平 高 男

和歌山県監査委員 築 野 富 美

和歌山県監査委員 新 島 雄

和歌山県監査委員 山 下 直 也

第 1 行政監査の趣旨

行政監査は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 199 条第 2 項の規定に基づき、行政事務の執行が経済性、効率性及び有効性の観点から、法令等の定めるところに従い適正に行われているかなどについて、監査を実施するものである。

平成 16 年度においては、次のとおり行政監査を行った。

第 2 監査対象事務

平成 15 年度における県の刊行物について

第 3 監査の目的

県が行政活動を進めていくには、県民に情報を的確に伝え、県政に対する県民の理解を深め、県民の参画を得て推進することが必要である。

その中でも、県が行う広報活動は、積極的に情報を提供することを目的として行われ、特に、刊行物は、情報伝達の正確性、高い保存性、携帯性などの優れた特性をもつことから、県の計画や各種情報を提供する手段として、県の各機関において多種多様なものが作成されている。

今回、県の各機関が県民等を対象として発行している冊子、パンフレット、チラシ、ポスター等の刊行物が、それぞれの目的に沿って適切に作成・配布され、有効に活用されているかなどについて行政監査を実施し、今後の行政運営に資することを目的とした。

第 4 監査対象事業

平成 15 年度における県の印刷製本費は、全体で約 5 億 7 千万円であった。今回の監査では、これらを含め 1 事業あたりの印刷経費が 50 万円以上の 77 件を抽出して監査した。

その内訳は、知事直轄 4、総務部 3、企画部 5、環境生活部 14、福祉保健部 10、商工労働部 13、農林水産部 12、県土整備部 4、教育委員会 9、警察本部 3 である。

それらの規格別内訳は、下記の表のとおりである。

また、具体的な刊行物名等については別表「刊行物別監査結果」記載のとおりである。

(表) 監査対象刊行物の規格別内訳 (単位：件)

規 格	冊子	パンフレット	リーフレット	チラシ	ポスター	その他	計
刊 行 物 数	33	15	16	6	5	2	77

第 5 監査対象機関

監査対象刊行物を所管する 49 課室等を対象に監査を実施した。

第6 監査の概要

1 監査の実施期間

平成16年6月から平成17年3月まで

2 監査の着眼点

監査にあたっては、県の刊行物はその目的どおり適正に発刊され、効果を十分に発揮しているか等の観点から、次の事項を着眼点とした。

(1) 刊行物の目的、必要性について

ア 刊行物の目的、必要性は十分検討されているか

イ 同種の情報は調整されているか

(2) 刊行物の内容について

ア 刊行物の内容はわかりやすいか

イ 刊行物の内容には必要な情報が盛り込まれているか

(3) 刊行物の発行状況について

ア 刊行物は適切に発行されているか

イ 刊行物の内容は広報されているか

ウ 刊行物は有効に活用されているか

3 監査の実施方法

監査の実施方法は、各部、各種委員会等の事前調査に基づいて監査対象刊行物を抽出し、監査対象機関から提出された行政監査調書等により、事務局職員が予備監査を行い、それらの結果をふまえ委員監査を実施した。

第7 監査の結果及び意見

1 総括

県の各機関が発行している刊行物は、県民とのコミュニケーションを確立するために、県の計画や施策等の各種情報を提供する手段として重要な役割を担っている。

一方、これらの刊行物について、一部または全部を個々のホームページに掲載したり、掲載を検討しているものが見られる。

現在、情報提供の手段は多様化しており、効率的な行政事務の執行や県民サービスを一層向上させるためには、行政目的に応じ、最も効果のある伝達手段を選択することが重要である。

監査の結果、県の刊行物については、おおむね適切に作成されていると認められたが、今後作成、発行するにあたっては、県民へ適時、的確に情報提供するため、次の点に留意されるとともに、県の刊行物がより一層効果的なものとなるよう期待する。

① 行政情報のデジタル化について

電子メディアが普及するなど、情報伝達のデジタル化が急速に進んでいる今日、県においても、効率的な情報の提供や経費節減の観点から、行政情報のデジタル化を進めるとともに、情報内容によっては、印刷物と電子メディアのメリット・デメリットを比較しながら、それぞれの特性に応じた使い分けを検討する必要がある。

② 有料広告の掲載等について

県発行の刊行物に係る制作経費を節減するため、企業などの有料広告を掲載するとともに、有料販売による読者拡大を検討する必要がある。

③ 再生紙の利用について

県においては、「ISO 14001」や「和歌山県地球温暖化防止実行計画」に基づき、環境に配慮した活動の推進に努めているが、再生紙の利用がまだ十分とは言えないので、その活用についても今後積極的に取り組む必要がある。

④ 著作権等について

著作権等を理由とした1者見積りによる随意契約が多く見られたが、著作権等の帰属や使用についてどのように取り扱うかなど、印刷発注時に十分検討しておく必要がある。また、印刷物等における著作権等の取り扱いについて、ガイドラインを定めておく必要がある。

⑤ ユニバーサル・デザインの指針策定について

年齢や障害の有無などにかかわらず、だれもが読みやすいように、レイアウトや活字の大きさを工夫するとともに、点字版やテープの作成も検討する必要がある。

また、「親しみやすく」、「わかりやすい」情報提供ができるよう、県発行の印刷物についても「ユニバーサル・デザイン」などの指針づくりが必要である。

⑥ 経費の節減と配布効果について

印刷物の作成にあたっては、配布先、配布方法、配布時期等を具体的に検討するとともに、印刷部数や費用対効果を十分考慮しながら経費節減に努める必要がある。また、効果を最大限に生かせるよう、必要に応じ配布状況を確認すべきである。

なお、今回、監査を実施した刊行物は、県全体の刊行物の一部であり、他の刊行物についても同様に改善、是正を要するものがあると思われるので、監査対象外の所属も含め、より一層効果的な発行に努めるよう望むものである。

(注) ユニバーサル・デザイン

ユニバーサル・デザインとは、ユニバーサル=普遍的な、全体の、という言葉が示しているように、「すべての人のためのデザイン」のことで、年齢、国籍、障害の有無などにかかわらず、できるだけ多くの人々が利用可能であるようにデザインすることをいう。

2 着眼点ごとの結果と意見

(1) 刊行物の目的、必要性について

ア 刊行物の目的、必要性は十分検討されているか

今回の監査対象77件のうち、刊行物の発刊目的が「広く情報周知、情報提供を主眼にして作成したもの」が42件(54.5%)、次いで「状況、状態、結果をとりまとめたもの」が15件(19.5%)、「行政の事業執行の補助資料として使用するもの」11件(14.3%)、「計画、行政の方向性を示すもの」4件(5.2%)、「情報等の検索、閲覧を目的として使用するもの」2件(2.6%)、「その他」3件(3.9%)の順となっている。

刊行物の多くはおおむねそれぞれの目的に沿って作成されているが、長年定期的に発行されている刊行物の中には、目的や必要性を再検討する必要のあるものも見受けられる。

(目的・必要性を検討すべき事例)

別表番号	刊 行 物
21	わかやま物価とくらし

イ 同種の情報は調整されているか

刊行物の中には内容が類似した印刷物も見受けられるので、掲載内容や配布先を見直すとともに、利便性(使いやすさ)や経済性(印刷費の節減)、相乗効果などの観点から、一体化も視野に入れて改善することを検討すべきものもある。

(一体化を検討すべき事例)

別表番号	刊 行 物
11	100の指標からみた和歌山→ ←和歌山県のすがた
57	「健康・安心」紀州材リーフレット→ ←わかやま木材カタログ健康・安心
63	浄化槽普及促進啓発チラシ→ ←「県民の友」活用

(2) 刊行物の内容について

ア 刊行物の内容はわかりやすいか

刊行物の企画・デザイン等については、全般的に見て、県民に見やすく、わかりやすい情報の提供に努めている。しかし、刊行物の一部には、伝えたい情報が多すぎて活字が小さくなったもの、色遣いが多すぎて読みづらいものが見受けられたので、レイアウトや活字の大きさを工夫するとともに、点字版やテープの作成も検討する必要がある。また、「親しみやすく」、「わかりやすい」情報提供が

できるよう、県発行の印刷物においても「ユニバーサル・デザイン」などの指針づくりが必要である。

印刷物の内容については、一般的にわかりやすく記述されているが、一部不要と思われるカタカナ表現や難解な専門用語を使用しているものが見受けられ、用語の説明のないものもあったので、読む立場に立って構成や難易度の検討を行い、可能なかぎり平易な表現になるよう努められたい。

(内容がわかりやすいように検討すべき事例)

別表番号	刊 行 物
1	広報紙「県民の友」
3	新発見ナビ
14	STOP地球温暖化 私たちはアースセイバー
15	家庭でできる温暖化対策
23	いよいよ中学生
24	男女共同参画で描く新しいふるさと和歌山 平成15年度版年次報告書
26	男女共同参画ガイドマップ 新しいふるさとわかやまみい一つけた!!
31	障害者(児)福祉のしおり 2003
34	和歌山県保健医療計画(圏域編)

イ 刊行物の内容には必要な情報が盛り込まれているか

刊行物の多くは、目的に沿って必要な情報が提供されていると認められるが、中には、問い合わせ先や統計資料の出所が記載されていないものも見受けられる。

刊行物によっては、県民とのコミュニケーション手段となっているものもあるので、県民の問い合わせに応えられるよう責任の所在を明らかにするとともに、少なくとも問い合わせ先や発行元を記載すべきである。

(問い合わせ先等を記載すべき事例)

別表番号	刊 行 物
9	ネットワークわかやまV o 1. 8, 9
13	平成15年版 和歌山県環境白書
23	いよいよ中学生
27	福祉の職場 わかやま 2003
31	障害者(児)福祉のしおり 2003
59	海遊体験参加者募集パンフレット

(3) 刊行物の発行状況について

ア 刊行物は適切に発行されているか

(a) 刊行物の印刷発注について

・ 刊行物の印刷発注において、1者による随意契約が多く見られた。随意契約は、地方自治法施行令や県財務規則で認められている例外的な契約方法であることを認識し、契約における経済性、透明性、公平性を確保する観点から、可能な限り競争入札による発注に努める必要がある。

また、随意契約の理由が、「発注先が著作権を有しているため、他社と比較して安く印刷できる。」となっている事例があった。しかし、毎年、継続して類似の内容の印刷物を発刊する場合においても、著作権を理由として、安易に同一業者と随意契約することなく、競争入札による契約を検討すべきである。また、随意契約による場合であっても、価格の妥当性を判断する上で、2者以上の見積を徴取すべきである。

(1者見積による随意契約の事例)

別表番号	刊 行 物
3	新発見ナビ
7	東南海・南海地震に備えよう
18	和歌山県食の安全・安心・信頼確保のための基本方針
27	福祉の職場 わかやま 2003
29	いきいきとした喜の国・わかやまの実現にむけて
30	ふれあいアルバム ～心豊かな長寿社会をめざして～
50	和歌山県の農業農村整備
62	和歌山県全県域污水適正処理構想
64	和歌山下津港ガイド
70	和歌山県立近代美術館要覧
74	展示解説書第16集 恐竜時代 I N和歌山 ー化石となった太古の生きものたちー

・ 印刷費そのものにデザイン料が含まれている場合は、見積徴取の段階で、デザイン料と印刷費の経費内訳を明確にしておく必要がある。

また、イベント企画等を委託する場合において、ポスターやチラシなどの啓発用印刷物の作成も含めて委託するときは、企画・デザインに要する経費と印刷経費の内訳が明確に分かる見積を徴するとともに契約書にも委託内容を具体的に規定する必要がある。

・ 印刷物にイラストや写真を使用するときには、事前にそれらの著作権等の範囲や帰属先、使用料などを明確にしたうえで、見積を徴し、印刷価格の見直しを立てるべきである。また、著作権等の帰属や利用についてどのように取り扱うかなど、ガイドラインを定めておく必要がある。

(企画料と印刷費の区分が不明確な事例)

別表番号	刊 行 物
46・47	パワーアップセミナー開催告知ポスター・チラシ

(b) 刊行物の増刷について

年度途中で、同一の刊行物を増刷している事例があった。印刷部数は、作成当初の印刷計画に基づき、活用方法や配布先等を明確にした上で決まるわけであるから、当該年度内における増刷については慎重に対処すべきである。

また、やむをえず増刷（改訂を含む）が必要になった場合は、同一の原版でなければならないかなどを十分検討した上で、契約方法が安易に随意契約に流れないように留意する必要がある。

(年度途中で増刷した事例)

別表番号	刊 行 物
17	知っておきたい食品表示
25	ワカちゃんの男女共同参画日記

(c) 有償・無償の明確化と管理について

・ 刊行物によっては、一部有償で頒布しているものがあるが、有償・無償が判別できるよう表示を明確にするとともに、頒布数や在庫数、無償配布先等を厳格に管理する必要がある。

・ 一部有償で頒布している刊行物の販売価格については、印刷費等を考慮のうえ、妥当な価格設定をする必要がある。

(一部有料頒布の事例)

別表番号	刊 行 物
5	和歌山県報 (公報)
71	特別展「天野の歴史と芸能」図録
72	研究紀要 (10号)
74	展示解説書第16集 恐竜時代 I N和歌山 ー化石となった太古の生きものたちー

(設定価格を検討すべき事例)

別表番号	刊 行 物
71	特別展「天野の歴史と芸能」図録
72	研究紀要 (10号)

(d) 再生紙の利用について

県においては、「ISO 14001」や「和歌山県地球温暖化防止実行計

画」に基づき、環境に配慮した活動の推進に努めているところから、再生紙の活用についても積極的に取り組むべきであるが、刊行物における再生紙の利用がまだ十分とは言えない。

県は、平成15年4月1日に「平成15年度和歌山県グリーン購入推進方針」を定めており、今後、推進方針の徹底を図る必要がある。

* 監査対象 77件中 52件が再生紙使用 (使用率67.5%)

(e) 印刷経費の節減について

印刷物の作成にあたっては、配布先や配布効果、印刷部数を十分検討し、費用対効果を高めるとともに下記事項に留意し、経費節減に努める必要がある。

- ・ ホームページやCDなどの電子媒体の活用により、印刷物の縮減を図り経費節減に努める必要がある。
- ・ 県発行の刊行物に係る制作経費を節減するため、企業などの有料広告を掲載することを検討する必要がある。
- ・ 必要以上に上紙質の装丁であったり、内容や用途とあまり関係のない写真の掲載などによって印刷経費が高くなっていると思われる事例が見られるので、改善する必要がある。
- ・ 一般県民への周知を図るために、チラシを印刷して全戸に配布している事例が見られるが、「県民の友」への掲載や特集記事での対応など、代替手段が可能なものについては、経費節減の観点から他の方法を検討すべきである。

(経費節減のため、紙質やデザイン・レイアウトなどに一考を要する事例)

別表番号	刊 行 物
2	総合情報誌「連」
18	和歌山県食の安全・安心・信頼確保のための基本方針
24	男女共同参画で描く新しいふるさと和歌山 平成15年度版年次報告書
33	和歌山県保健医療計画 (全県編)
34	和歌山県保健医療計画 (圏域編)
50	和歌山県の農業農村整備
61	平成の成果集第2号
72	研究紀要 (10号)

(「県民の友」などの代替手段で対応できると考えられる事例)

別表番号	刊 行 物
63	浄化槽普及促進啓発チラシ

イ 刊行物の内容は広報されているか

(a) 報道機関への資料提供について

刊行物の広報については、行政資料閲覧コーナーに配置するとともに、必要に応じてマスコミを通じ広報したり、県のホームページに掲載するなど概ね適正に行われているが、より一層啓発効果を高めるためにも適宜報道機関への資料提供を行う必要がある。

(b) 県のホームページ活用について

多くの刊行物について、内容を県のホームページに掲載するなどの努力がされている。特に、県民に広く周知すべき情報や全国に向けて発信すべき情報についてはホームページは有効な伝達手段であるので、なお一層の活用を期待する。また、県ホームページ「和歌山情報館」に「刊行物コーナー」を新設し、県刊行物の一覧や目録を公開することにより、内容の紹介や利用向上に努める必要がある。

(c) 行政情報のデジタル化について

- ・ 現在、インターネットのホームページが幅広く利用され、一方ではCDやDVDなどの電子メディアが普及するなど、情報伝達のデジタル化が急速に進んでいる。

県においても、効率的な行政情報の提供や経費節減の観点から、あらゆる行政分野において、電子メディアによる情報の提供を検討する必要がある。

なお、情報の内容によっては、印刷物と電子メディアのメリット・デメリットを比較しながら、それぞれの特性に応じた使い分け（選択と複合利用の両面）を検討する必要がある。

- ・ 本庁各課室や県出先機関などへの刊行物（特に統計情報等の行政関係資料）の配布は必要最少範囲にとどめるとともに、職員への周知についても行政事務用パソコンの効果的な活用などによって、印刷経費の節減に努めるべきである。

ウ 刊行物は有効に活用されているか

(a) 適切な印刷部数と効果的利用について

- ・ 印刷経費の費用対効果を考えると、厳密な配布計画のもとで印刷部数を必要最少範囲に押さえ、無駄に配布しないことが重要であるが、残部が出た場合も、有効活用に努めるとともに、当初の印刷計画が適切であったかどうかを見直す必要がある。

- ・ 会議や研修会などの会合で使用する予定があるという理由で、課内に保有されている刊行物については、適切に管理するとともに、計画的かつ効果的に活用されることが望まれる。

(b) 刊行物の配布先と配布効果について

- ・ 県の機関や市町村に送付されている刊行物で、送付先での活用状況が把握されていないケースが多い。刊行物は単に送付するだけでなく、事業効果を評価する上でも、最終配布先での確認を行うとともに、適宜、配布効果等を検証する必要がある。
- ・ 県を紹介したパンフレットで、綴じ込みの返信用はがきで読者アンケートを活用している事例があった。印刷物は、性格上、情報が一方的に提供されるものであるが、アンケートは双方向の情報交換手段であるとともに、配布効果が具体的に評価できる点から、必要に応じ、活用することが望まれる。

(アンケートを実施している事例)

別表番号	刊 行 物
2	総合情報誌「連」
1 3	平成 1 5 年版 和歌山県環境白書
4 4	和歌山県観光情報「紀州浪漫」

今回の監査対象とした刊行物については、別表「刊行物別監査結果」記載のとおりである。

(参考)

今回の「県の刊行物について」の行政監査の概要は、下記のホームページ「和歌山県情報館」の県監査委員事務局のサイトへ掲載しております。

ホームページアドレス：<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/230100/>

(別表) 刊行物別監査結果

番号	監査対象機関 (規格)	刊行物名称 部数、経費	意見
1	知事直轄 広報室 (パンフレット)	広報紙「県民の友」 4,932,000部 33,824千円	(1) 県民全世帯向け唯一の月刊情報紙であり、県民に対して県政の現状を適切に伝える工夫をするなど、県民参画の開かれた県政の実現に努力している。 (2) 専門用語、カタカナ用語に注釈をつけ、平易なわかりやすい表現で作成されている一方で、デザイン重視や背景色の使われ方により、読みにくい紙面や、活字が小さく読みづらい紙面も見受けられる。
2	知事直轄 広報室 (パンフレット)	総合情報誌「連」 18,000部 21,578千円	(1) 県の施策やプロジェクト等を県外のアピニオンリーダーなど幅広く送付されてされているとともに、内容充実のための努力が認められるが、アンケートを徴し有料化を検討されたい。 (2) 内容がわかりやすく作成されているが、装丁を工夫し経費節減に努められたい。 (3) 県内でも活用できるよう、配布計画を見直す必要がある。 (4) 編集内容について、他部局と調整を行う必要がある。
3	知事直轄 広報室 (リーフレット)	新発見ナビ 3,500部 750千円	(1) 県の施設紹介リーフレットで、主に県政バスで活用されているが、目的どおり活用されているか検証されたい。 (2) 専門用語やカタカナ用語が多く、読みづらく、わかりづらいので、表現に工夫する必要がある。 (3) 1者見積の随意契約を行っているが、今後入札も含め検討されたい。
4	知事直轄 文化国際課 (リーフレット)	県民文化祭リーフレット 35,000部 519千円	(1) 県民文化祭の内容やスケジュールを紹介したリーフレットで、写真等で行事内容がわかりやすく紹介されているが、広く県民に配布できるよう、印刷増数を増やすため有料広告を検討されたい。
5	総務部 総務学事課 (冊子)	和歌山県報 (公報) 126,500部 5,531千円	(1) 県関係等への配布については、行政事務用パソコン等の活用を検討する必要がある。
6	総務部 税務課 (冊子)	平成15年度県税の あらまし 1,500部 567千円	(1) 税についてわかりやすくまとめられた小冊子であるが、県民の納税意識の向上を図るとともに、広く県民に活用されるよう内容や配布方法を検討されたい。
7	総務部 総合防災課 (リーフレット)	東南海・南海地震に 備えよう 29,000部 1,493千円	(1) 地域や家庭での災害装備品や災害時の伝達方法のマニュアルとして活用できないか、内容について検討されたい。 (2) 1者見積の随意契約を行っているが、随意契約理由が適当でないので入札も含め検討されたい。 (3) 県民の全員に周知できるよう、配布方法を検討されたい。 (4) 経費節減のため、防災グッズメーカー等の有料広告を取るよう検討されたい。
8	企画部 企画総務課 (冊子)	図表で見る県勢 平成15年度版 800部 714千円	(1) 長期計画に位置づけされたプロジェクトなどの現況と課題について、図表でわかりやすく解説されている。県のホームページに掲載するなど、積極的に情報を県民に提供しているが、更に有効活用されたい。

番号	監査対象機関 (規格)	刊行物名称 部数、経費	意見
9	企画部 地域振興課 (パンフレット)	ネットワークわかや まVol. 8, 9 2,400部 530千円	(1) 地域づくりに参加している団体の取組み活動情報パンフレットであるが、刊行物の発行元を適切に表示されたい。
10	企画部 総合交通政策課 (地図)	和歌山県公共交通機 関ネットワーク図 500部 699千円	(1) 地域住民の生活交通路線の確保に繋げ、公共交通網の状況を把握するために作られた地図であるが、配布先や配布部数を精査し、有効活用されたい。
11	企画部 統計課 (冊子)	100の指標からみ た和歌山 2300部 725千円	(1) 和歌山県の地域の特性や各市町村の特性等を100の指標で全国と比較した統計資料であるが、「和歌山県のすがた」と統合することにより、利用しやすい冊子となってしまうので、編集について検討されたい。
12	企画部 統計課 (冊子)	和歌山県統計年鑑 750部 546千円	(1) 和歌山県の基礎的な統計データを体系的に収録し、行政施策の基礎資料、学術研究や企業経営等の統計情報などの資料源として活用されているが、県立学校等への配布についても検討するとともに、利便性を考え電子メディア化するなど検討されたい。
13	環境生活部 環境生活総務課 (冊子)	平成15年版 和歌山県環境白書 1,000部 1,260千円	(1) 本県を取り巻く環境の状況や保全に関する施策を公表することにより、県民への環境保全活動の啓発に資するものであるが、統計資料の出所の表示がなされていない箇所があるので表示する必要がある。 また、印刷部数を精査するとともに、残部の有効活用を検討する必要がある。
14	環境生活部 環境生活総務課 (リーフレット)	STOP地球温暖化 私たちはアースセイバー 10,000部 945千円	(1) 地球温暖化の原因や影響、その対応について、体系的に紹介されたリーフレットであるが、活字が背景色と同色系であるため読みにくいので表現方法について検討されたい。 (2) 啓発月間に合わせて作成し、啓発効果を高めるよう検討されたい。 (3) 計画段階で配布先と印刷部数の検討が十分でないため残部が多いので、早期に有効活用を図るよう検討されたい。
15	環境生活部 環境生活総務課 (パンフレット)	家庭でできる温暖化 対策 3,000部 936千円	(1) 地球温暖化防止のため、家庭でできる温暖化対策を促す時宜を得たパンフレットであるが、イラストが多用されており、また、活字が小さく、背景色と同色系の文字など多く使われているため、読みにくいので表現方法を改善する必要がある。
16	環境生活部 循環型社会推進課 (チラシ)	紀南地域廃棄物シンポ ジウムチラシ 120,000部 850千円	(1) 循環型社会を目指した廃棄物シンポジウム周知用のチラシで、市町村を通じ紀南地域の全戸に配布されているが、「循環型社会」そのものについてわかりやすく解説する必要がある。

番号	監査対象機関 (規 格)	刊行物名称 部数、経費	意 見
17	環境生活部 食品安全企画課 (リーフレット)	知っておきたい食品 表示 15,000部 725千円	(1) 消費者の食品選択や衛生上の危害発生の防止、生産者や事業者の適正表示を図るためのリーフレットであり、わかりやすく解説されているが、年度途中で増刷されており、配布先、配布部数を十分検討する必要がある。また、残部についても早期に配布計画をたて有効活用されたい。
18	環境生活部 食品安全企画課 (パンフレット)	和歌山県食の安全・ 安心・信頼確保のた めの基本方針 5,000部 1,239千円	(1) 1者見積の随意契約を行っているが、随意契約理由が十分とは言いがたいので入札も含め検討されたい。 (2) 基本方針としては、必要以上に写真が使用されているので、経費節減のため、内容を主眼とした表現方法を検討する必要がある。
19	環境生活部 動物愛護センター (冊子)	「わうくらす」教本 (生徒用) 3,000部 599千円	(1) 動物を通じ生命を尊重する心や他者への思いやりの気持ちを育むための教本であり、よく工夫されている。今後、市町村教育委員会、学校と十分連携をとり、さらに動物愛護の精神を広く進めるため有効に、活用されたい。
20	環境生活部 動物愛護センター (冊子)	「こねこ物語」 6,500部 1,297千円	(1) 職員の手作りによる漫画によって小学生向きに作成されているが、「ねこ」に起因する諸問題を通して生命の大切さを訴えており、広く活用されるように努められたい。
21	環境生活部 県民生活課 (リーフレット)	わかやま物価とくらし 132,000部 564千円	(1) 長年継続して発行されているが、その目的や必要性について現時点で必要か、また、その効果が挙がっているかの確認をされたい。
22	環境生活部 NPO協働 推進課 (リーフレット)	わかやまNPO情報 10,500部 567千円	(1) NPOの認知度を高めるとともに、活動に参加する人を増やし、NPOと行政の協働を促進するために作られた情報誌であるが、配布効果を検証するとともに配布先を精査する必要がある。
23	環境生活部 青少年課 (冊子)	いよいよ中学生 14,500部 685千円	(1) 中学生の非行を防止する16のポイントが紹介された冊子で、小学6年生の保護者に配布されているが、保護者の意見や感想を聴取するとともに非行防止のマニュアルとして活用されたい。 (2) 問い合わせ先に県青少年総合対策本部や(社)県青少年育成協会の連絡先がないので明示されたい。 (3) 活字が小さく、また背景色と同色系の文字であるため、読みづらいので、表現に工夫する必要がある。
24	環境生活部 男女共生社会 推進課 (冊子)	男女共同参画で描く新 しいふるさと和歌山 平成15年度版年次報告書 900部 881千円	(1) 男女共同参画の状況や施策の実施状況を年次報告にまとめたものであるが、別途、センターが発行している事業概要と情報が重複しているので、編集に工夫されたい。 (2) 民間団体等の取組についても、今後年次報告に登載するよう検討されたい。 (3) 活字の見出しの色彩が薄く文字が読めないため、配色など読みやすさに配慮する必要がある。 (4) 必要以上の装丁がなされているので、経費節減の観点から紙質等を検討されたい。

番号	監査対象機関 (規 格)	刊行物名称 部数、経費	意 見
25	環境生活部 男女共生社会 推進センター (冊子)	ワカちゃんの男女共同 参画日記 30,000部 1,848千円	(1) 男女共同参画啓発のための啓発用冊子であるが、年度途中で増刷されているので、当初の配布先、配布部数の計画を見直されたい。 (2) 市町村へ配布するにあたっては、活用状況の確認を行う等、配布効果を適宜把握する必要がある。 (3) 講演会、研修会等で配布するときは、刊行物の要旨等の説明も加えたいと配布し、実効あるものとされたい。
26	環境生活部 男女共生社会 推進センター (リーフレット)	男女共同参画ガイド マップ 新しいふるさとわかやま みいーつけた!! 10,000部 1,043千円	(1) 男女共同参画の地域活動を行っている団体を紹介しているが、地図が重複しているうえ、地図と記事の配置が混在しているため、読みやすくするようレイアウトを工夫されたい。 (2) リーフレットの活用状況の確認を行う等、配布効果を適宜把握する必要がある。
27	福祉保健部 福祉保健総務課 (冊子)	福祉の職場わかやま 2003 3,000部 1,884千円	(1) 福祉関係の資格に応じた福祉職場を網羅し、人材確保のためにも効果的な冊子であるが、行政資料閲覧コーナーや図書館等求職希望者の集まる場所への配布も検討されたい。また、問い合わせ先について保健所の連絡先も入れておく必要がある。 (2) 1者見積の随意契約を行っているが、競争入札等の発注方法に改善するよう、受託先である県社会福祉協議会を指導されたい。
28	福祉保健部 長寿社会推進課 (パンフレット)	和歌山県シニアマイスター 登録者紹介パンフレット 5,000部 788千円	(1) シニアマイスターの登録やボランティア活動を紹介したパンフレットであるが、配布残部数については、配布計画をたて有効活用されたい。
29	福祉保健部 長寿社会推進課 (冊子)	いきいきとした喜の 国・わかやまの実現 にむけて 10,000部 1,082千円	(1) 高齢化社会の状況や福祉の方向、高齢者の人権等について、広く県民に周知するための冊子であるが、配布先での活用状況の確認が必要である。 (2) 1者見積の随意契約を行っているが、同じデザインのものでなければならぬ理由が不明確なことから、入札も含め検討されたい。
30	福祉保健部 長寿社会推進課 (冊子)	ふれあいアルバム ～心豊かな長寿 社会をめざして～ 13,000部 1,611千円	(1) 小学6年生に対し、長寿社会の正しい理解と認識を促すための冊子であるが、1者見積の随意契約を行っている。初版作成から4年が経過し、同じデザインで発行を行う必要性が低いと考えられることから、入札も含め検討されたい。 (2) 本庁、出先機関、市町村に配布されているが、配布先や必要部数を十分精査し、有効活用に努められたい。
31	福祉保健部 障害福祉課 (冊子)	障害者(児)福祉の しおり2003 8,000部 588千円	(1) 障害者(児)が利用できる福祉制度について情報提供するために作成されたもので、障害者手帳交付時に配布されているが、障害者のだれもが読みやすいように、レイアウトや活字の大きさを工夫されたい。また、視覚障害者のために、点字版の作成も検討されたい。 (2) 町村福祉係及び、税務署、職業安定所の連絡先を表示しておく必要がある。

番号	監査対象機関 (規 格)	刊行物名称 部数、経費	意 見
32	福祉保健部 障害福祉課 (冊子)	紀の国障害者プラン 2004 (本編) 1,000部 630千円	(1) 障害者施策を総合的・計画的に推進するための今後10年間の施策の基本的方向を定める基本計画である。当初の印刷段階で、配布先、配布部数を十分精査のうえ作成し、配布する必要がある。 (2) 行政資料閲覧コーナー、文書館等への配布を検討されたい。
33	福祉保健部 医務課 (冊子)	和歌山県保健医療計画 (全県編) 800部 1,496千円	(1) レイアウトや紙質等を考慮し、印刷経費節減のために必要以上の装丁とならないよう工夫する必要がある。 (2) 配布にあたっては、計画に参加している医療機関・消防・海上保安庁等関係者にも配布する必要がある。 (3) 当初の印刷段階で、配布先、配布部数を十分精査のうえ作成するとともに残部の有効活用に努められたい。
34	福祉保健部 医務課 (冊子)	和歌山県保健医療計画 (圏域編) 800部 2,040千円	(1) レイアウトや紙質等を考慮し、印刷経費節減のために必要以上の装丁とならないよう工夫する必要がある。 (2) 配布にあたっては、計画に参加している医療機関・消防・海上保安庁等関係者にも配布する必要がある。 (3) 当初の印刷段階で、配布先、配布部数を十分精査のうえ作成するとともに残部の有効活用に努められたい。 (4) カタカナ用語にはわかりやすい解説を付ける必要がある。
35	福祉保健部 国民健康保険課 (ポスター)	国民健康保険制度啓 発ポスター 5,300部 3,150千円	(1) 国民健康保険制度について認識を深めてもらうとともに、国保事業の適正化を図るため作成されたポスターであるが、周知内容が小さい文字で表示されているため読みにくいので、内容を効果的に表現する必要がある。
36	福祉保健部 健康対策課 (冊子)	愛ってLa・La・La 10,000部 1,890千円	(1) 高校生を対象に、性及び性感染症に関する正しい情報を提供するために、わかりやすく作成された冊子であるので、教材としてさらに有効活用されたい。
37	商工労働部 商工労働総務課 (冊子)	平成15年度版 きのくに産業白書 500部 756千円	(1) 中小企業金融の円滑化や県経済の動向についてまとめられた冊子となっているが、地場産業の動向や現状を盛り込むことを検討されたい。
38	商工労働部 公営競技事務所 (チラシ)	和歌山県競輪開設54周 年記念競輪開催告知情報 誌 310,000部 1,328千円	(1) 和歌山記念競輪を開催するにあたり、電話投票会員や場外開催の競輪ファンの方に無償配布されており、場外車券の売上げ増加に努めている。
39	商工労働部 商工振興課 (パンフレット)	和歌山の皮革産業 1,500部 619千円	(1) 県工業技術センターと製革事業協同組合との共同で開発された、皮革製品の特徴や良さを掲載したパンフレットであるが、研究成果を和歌山のブランド皮革製品として大きく取り上げ、需要拡大に繋げられたい。 (2) パンフレットの配布残部数については、配布計画を立て今後有効活用されたい。

番号	監査対象機関 (規 格)	刊行物名称 部数、経費	意 見
40	商工労働部 商工振興課 (リーフレット)	紀州の伝統工芸品 5,000部 848千円	(1) 紀州伝統工芸品の8品目が紹介されているリーフレットであるが、伝統工芸品の技術を後継者に引き継ぐため伝統技術そのものの紹介をするなどの工夫が必要である。 また、伝統工芸品の需要の拡大のためにも、幅広くリーフレットの活用を図られたい。
41	商工労働部 工業技術センター (冊子)	デザイン高度化推進 モデル2 750部 583千円	(1) 産・学・官が協力し、企業における製品をデザイン・企画の高度化推進のための提案、研究結果をまとめた冊子であるが、冊子の配布残部数については、今後配布計画を立て有効活用されたい。
42	商工労働部 観光振興課 (リーフレット)	観光ガイドマップ 80,000部 4,284千円	(1) 観光地区、問い合わせ先、交通網の内容を一部抜粋した別刷りの観光マップ・ダイジェスト版を作成しているが、それぞれの印刷物を有効活用し、誘客を図るよう努められたい。
43	商工労働部 観光振興課 (チラシ)	タクシー de 王様気分 チラシ 45,000部 588千円	(1) 白浜を中心に広域エリアにおいて企画したもので、「タクシーを利用した周遊モデルプラン」を観光客に周知し、広域エリア地元観光地への誘客を図ることにしているが、県内各観光地においても、こうした周遊プランにより誘客を図るよう努められたい。
44	商工労働部 観光振興課 (冊子)	和歌山県観光情報 「紀州浪漫」 480,000部 19,522千円 (送料込)	(1) 和歌山県の認知度向上やイメージアップ等誘客を図るための観光情報誌となっている。また、四季を通じての和歌山県の各地域の観光ガイドとなっており、今後も幅広い観光情報の提供により誘客に努められたい。 なお、アンケート結果についても、適宜紹介するよう工夫されたい。
45	商工労働部 観光交流課 (パンフレット)	和歌山県観光体験 ガイド 「まんまもん体験」 50,000部 2,037千円	(1) 和歌山県の体験型観光の情報を多く掲載し、多様なニーズの対応にも応えられる詳細な情報が織り込まれているが、今後参加者の体験談を募集し、その体験談を掲載するなど、内容の充実に努められたい。
46 47	商工労働部 雇用推進課 (ポスター) (チラシ)	パワーアップセミナー 開催告知ポスター 100部 503千円 チラシ 1,000部 452千円	(1) 就職希望者に対して有効な就職指導を行うための講座の開催を周知するためのポスター・チラシであるが、印刷見積書に経費内訳がないので、経費の積算内訳を徴し、印刷物の費用対効果を検証されたい。
48 49	商工労働部 雇用推進課 (ポスター) (チラシ)	ジョブカフェ周知 ポスター 250部 180千円 チラシ 4,000部 120千円	(1) 就職に対する悩みや不安を抱える若者の相談に応じるための支援センター開設に伴うポスター・チラシであるが、作成時期が開設と同時であったため周知効果が低いと思われるので、今後事前広報に努められたい。

番号	監査対象機関 (規格)	刊行物名称 部数、経費	意見
50	農林水産部 農村計画課 (リーフレット)	和歌山県の農業農村 整備 2,000部 1,696千円	(1) 農業農村整備事業の整備目標や実施状況を紹介したリーフレットであるが、内容や用途とあまり関係のない写真の掲載や紙質など必要以上の装丁がされているので、経費節減のため、装丁等について検討されたい。 (2) 1者見積の随意契約を行っているが、随意契約理由が適当でないので入札も含め検討されたい。
51	農林水産部 果樹園芸課 (パンフレット)	和歌山の果樹 6,000部 567千円	(1) 和歌山県の果樹農業についての最新の情報をまとめたもので、県外の視察者や果樹関係の会議等で活用されているが、配布先を検討するとともに有効活用に努められたい。
52	農林水産部 畜産課 (パンフレット)	特用畜産物料理レシピ パンフレット 1,000部 クリアブック 500部 700千円	(1) 特用畜産物を使ったレシピを紹介することによって、効果的な消費拡大を図るためのパンフレットであるが、メニューを増やすなど継続性を持たせる必要がある。 また、販売元の紹介や試食会を開催するなど、特用家畜の消費拡大に繋げるPR方法を検討をされたい。 (2) 他の県産品との組み合わせを検討されたい。
53	農林水産部 就農促進課 (冊子)	たずねてみよう直売 所や観光農園 1,500部 945千円	(1) 県内の農産物や農産加工品の直売所や観光農園が紹介されているが、冊子の効果的な配布方法を検討するとともに、配布先を広げるなど、有効活用に努められたい。
54	農林水産部 新ふるさと 推進課 (パンフレット)	「緑の雇用」PRパンフ レット 3,000部 598千円	(1) 緑の雇用事業を総合的に推進するために作成され、参加希望者の相談等に活用しているが、県内外に対して、配布の方法や配布の時期などを見極め、有効に活用されたい。
55	農林水産部 林業振興課 (冊子)	森林・林業及び山村 の概況 1,500部 835千円	(1) 林業関係の統計資料として、森林・林業および山村の現状を分かり易く編集された冊子となっており、主に林業関係者の統計資料として活用されているが、配布先を検討するとともに、有効活用に努められたい。
56	農林水産部 林業振興課 (パンフレット)	わかやま木材カタログ 健康・安心 5,000部 945千円	(1) 紀州材としての杉・檜の特性や住宅での木材の使い方など事例により紹介されているが、今後は建築用材だけでなく多用途に使われる事例を紹介することも検討されたい。
57	農林水産部 林業振興課 (リーフレット)	「健康・安心」紀州 材リーフレット 12,000部 504千円	(1) 「わかやま木材カタログ健康・安心」と「健康・安心紀州材リーフレット」を統合し、木材の特性と利用方法を同じテーマで取り上げることも効果的であると思われるので、一つのパンフレットに再編成することを検討されたい。
58	農林水産部 定住促進課 (冊子)	和歌山UJIターン マニュアル 3,650部 820千円	(1) 定住希望者や定住者に対する支援制度や補助金制度等について解説されているが、制度の運用にあたっては、関係課との連携により効果を上げられるよう努められたい。

番号	監査対象機関 (規 格)	刊行物名称 部数、経費	意 見
59 60	農林水産部 水産振興課 (リーフレット) (ポスター)	海遊体験参加者募集 パンフレット 20,000部 342千円 ポスター 300部 308千円	(1) 県内4漁協が開催する海遊体験の参加希望者を県内外から広く募集するために作成された印刷物であるが、主催者を明確に表示されたい。
61	農林水産部 果樹試験場 (冊子)	平成の成果集第2号 1,000部 509千円	(1) 果樹研究の成果がまとめられているが、研究成果を多くの農業関係者に活用されるよう普及に努められたい。 (2) 紙質など必要以上の装丁となっているため、装丁を工夫し経費の節減に努められたい。
62	県土整備部 生活排水課 (リーフレット)	和歌山県全区域汚水 適正処理構想 1,000部 840千円	(1) 県全域の汚水処理構想について、わかりやすく編集されているが、新しいデータの更新日を明確にしておく必要がある。 (2) 1者見積の随意契約を行っているが、随意契約理由が適当でないので入札も含め検討されたい。
63	県土整備部 生活排水課 (チラシ)	浄化槽普及促進 啓発チラシ 392,000部 1,153千円	(1) 水環境月間に併せ、「県民の友」の特集記事を活用するなど、啓発方法について工夫されたい。
64	県土整備部 振興課 (パンフレット)	和歌山下津港ガイド 1,000部 514千円	(1) 和歌山下津港港湾利用者に、施設の状況や施設利用の情報を提供しているが、施設の利用メリットや活用の利点を具体的にPRするとともに、施設の料金体系を見やすくされたい。 (2) 1者見積の随意契約を行っているが、随意契約理由が適当でないので入札も含め検討されたい。 (3) 配布先での必要部数を精査し、有効活用を図られたい。
65	県土整備部 管理整備課 (リーフレット)	片男波・浜の宮リーフレット 20,000部 609千円	(1) 片男波・浜の宮公園をPRし、ビーチ利用の促進に努めるとともに利用者の海難事故防止の啓発に一層努められたい。
66	教育委員会 生涯学習課 (冊子)	きのくに県民カレッジ 「メニューブック」 秋号 9,500部 1,062千円	(1) 県や市町村等が実施する生涯学習講座のメニューブックであるが、受講者の多様なニーズに応えられるよう、内容をさらに充実するとともに、利便性を考え地域別に整理することも検討されたい。 (2) 県民の方々に広く周知するため、配布先や配布部数、配布方法を十分検討する必要がある。 (3) 配布効果を知るために、配布先の検証を行うとともに、冊子の活用状況を把握する必要がある。
67	教育委員会 生涯学習課 (リーフレット)	「みんなではぐくむ 子どもの未来」 7,800部 676千円	(1) 学校週5日制の実施に伴い、学校・家庭・地域社会の連携協力を図るために作成されたリーフレットであるが、地域での活用も含め、配布対象を広めていく必要がある。 (2) このリーフレットはPTAの研修会等で活用されているが、アンケートを実施するなど、内容の充実が努められたい。

番号	監査対象機関 (規 格)	刊行物名称 部数、経費	意 見
68	教育委員会 生涯学習課 (冊子)	人権教育資料第30集 「明日へのとびら」 3,000部 945千円	(1) 学校における人権教育に係る実践事例等を掲載した資料集であるが、この事例等を教育現場でより一層活用するよう努められたい。
69	教育委員会 近代美術館 (ポスター)	全館コレクション展 「美術百科「7つの 鍵」の巻」ポスター 2,000部 515千円	(1) 開催期間がテーマによって異なっているため、テーマ別の開催時期を記載しているが、よりわかりやすい表示を検討する必要がある。 (2) 周知やより効果を高めるため、ポスターの掲示の期間を十分とるとともに、交通機関等人の集まる場所へ掲示するなど、より適切な掲示や配布を検討する必要がある。
70	教育委員会 近代美術館 (パンフレット)	和歌山県立近代美術 館要覧 1,500部 520千円	(1) 美術館の施設概要を紹介したパンフレットであるが、1者見積の随意契約を行っており、今後入札も含め検討されたい。
71	教育委員会 博物館 (冊子)	特別展「天野の歴史 と芸能」図録 2,000部 3,969千円	(1) 一部有償で頒布しているが、販売価格については、印刷費等を考慮のうえ、妥当な価格設定をされたい。 (2) 無償配布については、必要最少限の配布とし、有償・無償の表示を明確にするとともに、管理を適切に行う必要がある。
72	教育委員会 博物館 (冊子)	研究紀要(10号) 1,000部 630千円	(1) 天野地域の文化財や歴史的な背景についての研究成果をまとめた冊子で、一部有償頒布しているが、販売価格については、印刷費等を考慮のうえ、妥当な価格設定をされたい。 (2) 無償配布については、必要最少限の配布とし、有償・無償の表示を明確にするとともに、管理を適切に行う必要がある。 (3) 印刷経費節減のため、紙質等を考慮されたい。
73	教育委員会 自然博物館 (冊子)	永井コレクション・ カニ類目録 500部 892千円	(1) この冊子は、個人のカニコレクションをまとめた目録であるが、一般入館者にもわかりやすい情報提供に努められたい。
74	教育委員会 自然博物館 (冊子)	展示解説書第16集 恐竜時代IN和歌山 一化石となった太古の生き ものたち 2,000部 619千円	(1) 県内に豊富に存在する化石に関する情報を紹介した冊子であるが、博物館での化石展の後で発刊されているため、適切な時期に発刊する必要がある。 (2) 無償配布については、必要最少限の配布とし、有償・無償の表示を明確にするとともに、管理を適切に行う必要がある。 (3) 1者見積の随意契約を行っているが、今後入札も含め検討されたい。
75	警察本部 総務課 (冊子)	和歌山の警察2004 5,000部 1,000千円	(1) 警察の活動内容をわかりやすく紹介されているが、「県民の友」等の広報媒体も活用することを検討するとともに、より親しみやすい警察のPRに努められたい。 (2) 主に警察関係団体等に配布されているが、県民にとって必要な情報であるので、各家庭に周知できる方法を検討されたい。

番号	監査対象機関 (規 格)	刊行物名称 部数、経費	意 見
76	警察本部 総務課 (下敷き)	和歌山のけいさつ 12,000部 526千円	(1) 小学生を対象として作られた下敷で、警察の組織や活動等が親しみ易く紹介されており、教材としても有効に活用されている。
77	警察本部 警務課 (パンフレット)	平成16年度和歌山 県警察官募集案内 10,000部 767千円	(1) 警察業務や勤務形態等を掲載した警察官募集パンフレットで、主に関係団体等に配布されているが、配布場所を広げるなど有効に活用されたい。